

NO. **421**
2026.8・9

CENTER NEWS



目 次

組合員新規加入にあたって	やすわぎ ひろし 安藝 浩資	1
6 月・7 月定例理事会		2
会社探訪記 (基礎地盤コンサルタンツ(株) 関西試験室)		3
第 61 回地盤工学研究発表会参加報告	高野 七海	5
「第 61 回地盤工学研究発表会」 in 静岡 参加報告	三好 功季	6
委員の独り言	荒谷 賢一	7
編集後記	長谷川 智昭	8

表紙説明

海外業務で、ラオス国において大規模なボーリング調査を実施しました。調査当時は、何もない山間部の谷間に流れる川の風景でした。ダムの本體工事が始まり、堤体コンクリートの打設が完了した時点で訪問した際の堤体天端からの写真です。

ダムの目的は、タイに電気を供給することであり、ダムの規模は高さ 167m、幅 530m で、日本における黒部ダムに匹敵する規模となります。高さ 167m から見下ろすと足がすくんでしまいましたが、景色は最高でした。また、自分たちが携わった現場であるため、感慨深い思いでした。

(写真・文：曾根)



組合員新規加入にあたって

ニタコンサルタント株式会社

代表取締役社長 安藝 浩資

この度、貴組合の組合員として加入させていただくこととなりましたニタコンサルタント株式会社です。組合員の皆様にご挨拶申し上げますとともに、弊社の概要をご紹介します。

弊社は昭和 29 年（1954 年）に「仁田工業所」として創業し、昭和 38 年（1963 年）には建設コンサルタント登録を行い、地域の社会資本整備を支える技術者集団として歩みを進めてまいりました。その後、平成 10 年（1998 年）に現在のニタコンサルタント株式会社へ社名を変更し、総合建設コンサルタントとして新たなスタートを切りました。創業以来 70 年余りにわたり、四国を中心に地域の発展と安全・安心な暮らしを支えるため、技術の研鑽と事業領域の拡充に取り組んでまいりました。

私たちを取り巻く社会環境は大きく変化しています。近年は激甚化する自然災害への対応に加え、人口減少や高齢化の進行に伴う社会資本の維持管理、さらには南海トラフ巨大地震への備えなど、多くの課題が顕在化しています。このような中、建設コンサルタントに求められる役割はますます重要になっていると感じています。

弊社では、長年培ってきた建設コンサルタント技術や地質・環境調査技術を基盤としながら、ICT、三次元計測技術、各種解析技術など新しい技術の活用にも積極的に取り組んでおります。また、映像技術やソフトウェア開発なども含めた幅広い技術サービスを通じて、地域の課題解決に貢献できる企業を目指しております。

地域の安全・安心を守り、持続可能な地域づくりを実現するためには、技術力の向上だけでなく、それを支える人材の育成が不可欠です。弊社では若手技術者の育成や働きやすい職場環境づくりにも力を注ぎ、技術の継承と新たな技術への挑戦を両立しながら、次世代を担う人材が活躍できる企業づくりを進めています。

私たちは、「地域の安全安心と豊かな地域づくりを支え、地域を最良のカタチで次の時代につなぐ」ことを理念とし、「未来の礎をカタチにする」と「地域の日常を守る」という使命を胸に事業活動を続けています。今回の加入を機に、組合員の皆様との交流を深め、業界の発展と技術力の向上に微力ながら貢献してまいりたいと考えております。



今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和8年6月30日（火）15時00分より、ガーデンシティクラブ大阪会議室にて理事9名が出席して開催した。

【報告事項】

- 1) 一般経過報告の件
- 2) 5月分事業報告の件
 - (1) 試験実施状況報告
 - (2) 収支実績報告
- 3) 第46期通常総会費用精算報告の件
- 4) 令和8年度ジオ・ラボネットワーク経営懇談会・定例会開催報告の件
- 5) 2025年度（令和7年度）顧客満足度アンケート調査結果について
- 6) その他の件

【審議事項】

- 1) 組合職員の夏期賞与支給検討の件
- 2) 設備投資の件
- 3) 大阪府中央会「第68回中小企業団体大阪大会」表彰推薦者の件
- 4) その他の件

7月理事会は持ち回り開催とした。令和8年7月23日（木）に理事9名全員に資料を送付し、令和8年7月29日（水）までに理事全員より意見を回収した。

【報告事項】

- 1) 一般経過報告の件
- 2) 6月分事業報告の件
 - (1) 試験実施状況報告
 - (2) 収支実績報告
- 3) 令和8年度第1四半期（4月～6月）実績報告

かいしゃたんぼうき

基礎地盤コンサルタンツ株式会社 関西試験室

創業 | 昭和 28 年 8 月 28 日
資本金 | 1 億円
主たる業務 | 地盤調査・解析、土質試験



〈インタビュー風景〉



強みトップ3

①ボーリング調査から試験・解析まで一貫して対応可能
調査・試験・解析をすべて自社で行えるため、部署間で情報共有しながら業務を進めることができる。

②自社で試験室を保有
土質試験を迅速かつ正確に実施、試験結果を自社内で管理・解析できるため、高品質なデータを安定して提供できる体制が整っている。

③社員同士が協力し合える風土
お互いに支え合いながら業務を進められる職場環境。

Q

どのような仕事をする会社ですか？



センター 仲西

A

ボーリング調査で採取された土や岩石などの試料を試験室へ持ち込み、さまざまな土質試験を実施しています。試験結果をもとにデータを整理・解析し、お客様へ報告するまでが主な業務です。調査から試験、解析までを一貫して自社で対応できることが特徴であり、それぞれの部署が連携しながら業務を進めています。地盤や基礎分野を専門とし、建設工事に必要な正確なデータを提供しています。

Q

会社の強みはなんですか？

A

ボーリング調査から試験、解析までを自社で一貫して対応できることです。また、自社で試験室を保有しているため、迅速かつ正確な試験を実施できる点も大きな特徴です。地盤や基礎分野に特化した専門性が高く、お客様へ一連のサービスを提供できる体制が整っていることが、他社との差別化につながっています。

Q

働いていて大変だったことはありますか？

A

試験データの整理や解析結果の確認、報告書の作成など、細かな確認作業が多いことに難しさを感じています。また、試料の状態が悪い場合には正確な解析が難しくなるため、その対応にも苦労します。さらに、メールなど文章で相手に意図を正確に伝えることは難しく、電話との使い分けを意識しながら業務を進めています。



基礎地盤コンサルタンツ
布袋さん

Q センターってどんな印象ですか？

A センターは若い社員が多く、活気のある職場という印象です。教育体制も整っており、若手社員がさまざまな経験を積みながら成長できる良い環境だと感じています。
見学会や交流会なども開催されており、他会社とのコミュニケーションを取る機会があることも魅力です。



センター 向

Q 入社してよかったことはありますか？

A 福利厚生が充実していることに加え、先輩方が優しく、分からないことをすぐに教えてくれる点良かったと感じています。社内の雰囲気も良く、人間関係で困ることが少ないため、安心して仕事に取り組めます。
また、安全大会や技術会議などに参加する機会もあり、知識や技術を学びながら成長できる環境が整っています。



基礎地盤コンサルタンツ 伴さん

Q 社内はどのような雰囲気ですか？

A 社内は質問しやすく、困ったことがあれば先輩方が丁寧に教えてくれる温かい雰囲気があります。少人数の部署ということもあり、社員同士の距離が近く、お互いに助け合いながら仕事を進めています。また、パートから社員になった方もいるなど、一人ひとりの頑張りを評価してくれる職場でもあります。
近年は女性社員も増えてきており、以前よりもさらに働きやすい環境になってきていると感じています。



基礎地盤コンサルタンツ 島田さん



〈試験室 風景〉

今回、基礎地盤コンサルタンツ(株)さんへお伺いしました。地盤調査から試験・解析までを一貫して行う高い技術力だけでなく、社員同士が助け合いながら仕事に取り組む温かい社風が印象的でした。基礎地盤コンサルタンツの皆様、お忙しいところお時間いただきありがとうございました。

社長の一言



関西支社長
安田 啓吾

近年、自然災害の激甚化や社会インフラの老朽化が進む中、地盤に携わる技術者の役割はますます重要になっています。私たち基礎地盤コンサルタンツは、地質調査・解析・設計など、それぞれの専門性を生かしながら、関西各地のさまざまな地盤課題に取り組んでいます。

こうした歩みを続ける基礎地盤コンサルタンツ 関西支社は、来年、創立70周年を迎えます。これまで山から海、都市部まで多様な地盤と向き合い、多くの方々との信頼関係を築きながら歩んできました。

関西地盤環境研究センターの皆さんとは、試験や技術相談を通じて交流する機会があります。豊富な知識と経験を持つ技術者が多く、専門的な内容も気軽に相談できる雰囲気が魅力です。また、幅広い試験への積極的な取り組みは、

私たちにとっても大きな刺激となっています。

地盤の仕事は、現場ごとに条件が異なるため、一つとして同じものはありません。だからこそ、それぞれの知識や経験を持ち寄り、互いに知恵を出し合うことが大切です。これからもセンターの皆さんとの交流を深め、ともに地盤技術の可能性を広げながら、関西の安全・安心に貢献していきたいと思ひます。

第 61 回地盤工学研究発表会参加報告

地盤技術室 高野 七海

この度 2026 年 7 月 7 日～9 日に静岡県静岡市にて開催されました第 61 回地盤工学研究発表会に参加して参りましたので報告をさせていただきます。

センターからは 4 名が研究発表を行い、私は「盛土材料としての鉄鋼スラグ混合土の室内土質試験」をテーマに、スラグが物理特性に及ぼす影響について発表しました。梅雨明け前でしたが期間中は天候に恵まれ、移動や会場での活動もしやすい学会期間となりました。

昨年に引き続き 2 度目の学会参加となりましたが、昨年の経験を活かし比較的落ち着いて発表や質疑応答に臨むことができたと感じています。発表に向けての準備では実験データを整理し、限られた時間で分かりやすく説明するためのスライド構成や説明方法についても工夫を重ねました。また、質問をいただくことで自分では気付かなかった視点を知ることができ今後の研究に繋がる貴重な機会になりました。

発表終了後には共同で研究を進めている方々との交流会に参加いたしました。お会いするのは 2 度目だったこともあり、前回以上に和やかな雰囲気での交流することができ、研究に関する情報交換だけでなく様々なお話を伺うことができました。一方、学会主催の交流会には参加できませんでしたが、参加した先輩方から大盛況だったと聞き、研究者や技術者同士が活発に交流する場となっていたようです。

また、他の発表では地盤工学に関する最新の技術や実務に直結する事例を数多く聴講し、日々の業務にも活かせる知見を得ることができました。今回の学会参加を通じて多くの学びと刺激を受けることができたため、今後の研究や業務に積極的に活かしていきたいと思っています。

最後になりますが足をお運びいただき発表をご覧いただいた皆様、参加する機会を与えてくださいました皆様に心よりお礼申し上げます。



会場：グランシップ



駿府城の徳川家康像



静岡おでん

「第61回 地盤工学研究発表会」in静岡 参加報告

地盤技術室 三好 功季

2026年7月7日～9日に第61回地盤工学研究発表会が静岡県静岡市にて開催されました。私は、当組合の顧問である大島先生が長年研究されてこられました「大阪市港区海岸通での地盤調査一斉試験（その2：沖積粘土層の土質特性）」について発表を行いました。

昨年度、大阪市港区海岸通を対象として上部粘性土と沖積粘土 Ma13 層の土質特性を把握するための地盤調査一斉試験が行われました。当センターでは、サンプリングした乱れの少ない試料を用いて土質試験を実施いたしました。

今回の発表では、特に沖積粘土 Ma13 層に着目し、含水比、塑性指数、圧密特性および強度特性などの土質特性について整理し、その特徴について報告を行いました。また、大阪湾沿岸部に広く分布する Ma13 層の特徴や堆積環境との関係について紹介しました。

さらに、ほぼ同一試料を用いて液性・塑性限界試験を2カ月遅れで実施した結果、酸化の影響や保存状態の違いにより、液性限界が異なる結果となることを報告いたしました。液性限界に限らず、土質試験を実施する際には試料の保管方法や期間に十分注意する必要があることを改めて実感しました。

最後になりますが、研究発表会・ブース展示を見学し、最新の研究成果や技術に触れることができ、大変有意義な機会となりました。今後の業務や研究活動に、本発表会で得られた知見を活かしていきたいと思えます。

なお、来年度の地盤工学研究発表会は奈良県で開催される予定です。関西開催ということもあり、関西代表の一員として何らかの形で貢献できればと考えております。



発表会会場



懇親会の様子

委員の独り言

先日世界的に盛り上がった FIFA ワールドカップ (W 杯) が閉幕しました。結果は皆様もご存じのとおりですが、ネット記事でも AI でもない持論を勝手に呟きさせていただきます。

私が興味深いと思ったのは準々決勝の 4 試合です。全 4 試合で「優勝経験国 vs 育成先進 (定評) 国」の構図となりました。例えば、ベルギーは 1990 年代後期から育成に力を注いで優秀な選手が多数現れました。8 年前のロシア大会では、日本代表が終了間際に逆転負けしたのも記憶に新しいです。また、モロッコはアフリカ No.1 の育成システム国と言われ、W 杯やオリンピックで好成績を続けています。日本代表も、日本サッカー協会 (JFA) が 2000 年初頭から「2050 年までに W 杯で優勝」を目指して、育成システムを構築しています。その結果、100 名以上の海外チーム在籍選手がおり、今後も増えていきます。育成の具体的な話をする、軽く 2～3 頁すすみそうなので、ここでは割愛します。

試合の結果は、優勝経験国の全勝でした。日本代表も今大会最弱と言われた優勝回数最多のブラジルに惜敗しました。それは、日本代表選手の「経験」と言う目に見えない大きな力があるからだと言っています。サッカーは 1 点を争う競技で、特に大きな大会においてチームの力量が肉薄しているほどその傾向は強いです。実際、今回の準々決勝勝利国には、前回の W 杯に出場または UEFA チャンピオンズリーグ (CL) でベスト 4 以上のチーム所属選手が多数いました。ここ一番の勝ち方やしのぎ方を知っているのでしょう。一方、準々決勝敗戦国や日本代表は、前述した選手が圧倒的に少ないです。それ以前に日本代表は W 杯決勝トーナメントで 1 勝すらできていないのが実情です。今後、CL 常連の強豪チームに何人の選手が入団し主力として活躍できるかが、4 年後の W 杯での勝利を導く鍵だと思います。

では、我々に目を向けてみると、「育成」は知識、「経験」は場数や規模、種別に相当すると思います。基礎知識は豊富だけど現場に応じた対応ができない人や、経験年数はそれなりなのに客先に対して理論武装や質疑対応が欠如している人はいないでしょうか。「育成」と「経験」をバランスよく保有することが大切だと実感しています。

(荒谷 記)

編集後記

★今年も梅雨が終わり、猛暑日が連発です。酷暑日もチラホラ観測され、タオルが2枚必要な季節になりました。皆様、どうぞ、お身体をご自愛ください。また、こんな時期に熊本の地震災害があり、何か出来ることはないか。こんな時に役立つ協力が業界で出来ないものかと大きな災害が起こるたびに思っています。(毎回、思うだけです。。。)

★【組合員新規加入にあたって】ニタコンサルタント(株)様です。創業70年とのこと。最近たまたま、現場でご一緒させて頂く機会があったのですが、ボーリング班の方々が穏やかな雰囲気の仕事されていて、気持ちよかったのが印象的でした。

★【会社探訪】今回は基礎地盤コンサルタンツ(株)関西支社様です。創立70周年を迎えられるとのこと。会社の雰囲気もよく、地盤調査から試験・解析を高い技術力で一貫して行え、ますます活気附いている感じが伝わってきます。また、センターの会合で良くお見掛けするSさんの笑顔が素敵です。

★【地盤工学会研究発表会(三好氏)】沖積粘土Ma13層の特徴や堆積環境との関係について発表されています。2ヵ月経った試料の試験結果に及ぼす影響などにも触れられている模様。ご興味があればお問い合わせください。

【地盤工学会研究発表会(高野氏)】「盛土材料としての鉄鋼スラグ混合土の室内土質試験」をテーマに、スラグが物理特性に及ぼす影響について発表されています。こちらもお興味が湧かれたらお問い合わせください。

★【委員の独り言】サッカーのワールドカップから「育成」と「経験」、地盤調査業界における「知識」と「場数」。バランスが大切！

(長谷川 智昭 記)

組合員・賛助会員名簿

【組合員名簿】

(50 音順)

会 社 名	電話番号	会 社 名	電話番号
株式会社 アサノ大成基礎エンジニアリング 関西支社	(06)6456-1531	株式会社 大同ソイル	(0745)63-1850
株式会社 アテック吉村	(072)422-7032	大日本ダイヤコンサルタント 株式会社 江坂オフィス	(06)6339-9141
株式会社 池田地質	(06)6797-2280	株式会社 タニガキ建工	(073)489-6200
株式会社 勇コンサルタンツ	(06)6306-6907	株式会社 地域地盤環境研究所	(06)6943-9705
株式会社 インテコ	(0742)30-5655	株式会社 地圏総合コンサルタント 四国支店	(0897)33-3123
株式会社 エイト日本技術開発 関西支社	(06)6397-3888	中央開発 株式会社 関西支社	(06)6386-3691
株式会社 エス・ビー・シー	(0883)52-1621	中央復建コンサルタンツ 株式会社	(06)6160-1121
株式会社 エムアールソイル	(06)6195-6712	株式会社 東京ソイルリサーチ 関西支店	(06)6384-5321
株式会社 オキコ コーポレーション	(06)6881-1788	株式会社 東建ジオテック 大阪支店	(072)265-2651
応用地質 株式会社 関西事務所	(06)6885-6357	東邦地水 株式会社 大阪支社	(06)6353-7900
川崎地質 株式会社 西日本支社	(06)7175-7700	土質コンサル 株式会社 大阪事務所	(072)634-6373
株式会社 関西土木技術センター	(075)641-3015	ニタコンサルタント 株式会社	(088)665-5550
株式会社 基礎建設コンサルタント	(088)642-5330	株式会社 日さく 大阪支店	(06)6318-0360
基礎地盤コンサルタンツ 株式会社 関西支社	(06)4861-7000	株式会社 日建設計	(06)6203-2361
キタイ設計 株式会社	(0748)46-2336	株式会社 日本インシーク	(06)6282-0310
株式会社 キンキ地質センター	(075)611-5281	日本基礎技術 株式会社 関西支店	(06)6351-0562
株式会社 KGS	(072)279-6770	日本物理探査 株式会社 関西支店	(06)6777-3517
株式会社 建設技術研究所 大阪本社	(06)6206-5700	ハイテック 株式会社	(06)6396-7571
興亜開発 株式会社 関西支店	(072)250-3451	株式会社 阪神コンサルタンツ	(0742)36-0211
国際航業 株式会社 関西事業所	(06)7175-8733	阪神測建 株式会社	(078)360-8481
株式会社 国土地建	(0748)63-0680	ビューエンジニアリング 株式会社	(088)665-7360
サンコーコンサルタント 株式会社 大阪支店	(06)6121-5011	株式会社 復建技術コンサルタント 関西支店	(06)6266-2244
三正技建 有限会社	(0883)63-5401	復建調査設計 株式会社 大阪支社	(06)6392-7200
有限会社 ジオ・ロジック	(072)453-1000	双葉建設 株式会社	(0748)86-2616
株式会社 白浜試錐	(0739)42-4728	報国エンジニアリング 株式会社	(06)6336-0228
一般財団法人 GRI財団	(06)6941-8800	株式会社 メーサイ	(06)6190-3371
株式会社 ソイルシステム	(06)6976-7788	明治コンサルタント 株式会社 大阪支店	(06)7178-1659
株式会社 創研技術	(088)652-0077	株式会社 ヨコタテック	(06)6877-2666

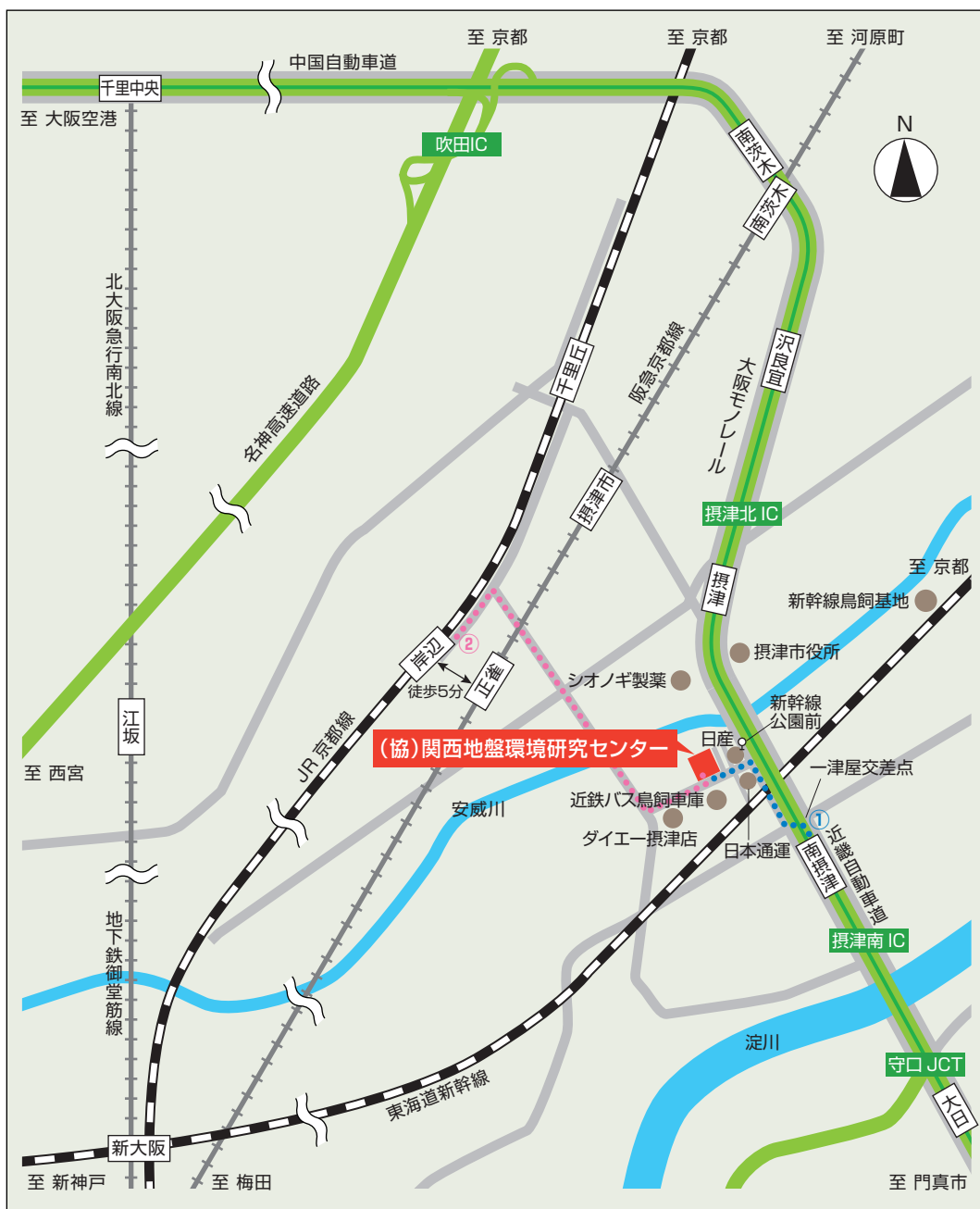
【賛助会員名簿】

会 社 名	電話番号	会 社 名	電話番号
株式会社 アーステック東洋	(075)575-2233	株式会社 ソルブレイン	(06)6981-3330
株式会社 JFDエンジニアリング	(06)6690-8353	株式会社 兵庫コンサルタント	(0799)28-1074
株式会社 総合技術コンサルタント	(075)312-0653	有限会社 ビュアソイル	(072)440-5137

発 行 協同組合 関西地盤環境研究センター
 〒566-0042 摂津市東別府1丁目3番3号
 TEL 06-6827-8833 (代)
 FAX 06-6829-2256
 e-mail info@ks-dositu.or.jp

編 集 広報小委員会
 編集責任者 八谷 誠
 印 刷 千里丘印刷

<https://ks-dositu.or.jp>



① 南摂津駅(大阪モノレール)より徒歩12分

② JR岸辺駅よりタクシーで約10分

新大阪駅より地下鉄御堂筋線に乗り千里中央駅でモノレールに接続、千里中央駅から南摂津駅まで21分

協同組合 関西地盤環境研究センター

〒566-0042 大阪府摂津市東別府1丁目3-3

TEL.06-6827-8833(代表)

FAX.06-6829-2256(地盤技術室)

<https://ks-dositu.or.jp>

